

# 丹後地域の高校の在り方NEWS

～京都フレックス学園構想に基づく学校づくり～ 【NO.3 平成29年2月】

京都府教育委員会においては、生徒数が今後さらに減少する傾向にある中、丹後地域の府立高校の在り方について検討を進めています。その一環として、これまでに行った公聴会や懇談会、アンケートにおいて、皆さまから寄せられたご意見や疑問点にお応えしてまいります。

## Q. 分校をなぜ1つにするのですか？

A. 今の分校のきめ細かな教育を一層充実させた「新しい」学校をつくるためです。

### 分校が設置された経過

分校は、かつて道路交通網の整備が不十分で、自宅から高校に通うことができない地域に住む子どもたちの修学保障、特に定時制では地域で働きながら学ぶ子どもの修学保障のため設置されてきた経過があります。

しかし、交通の利便性も変化し、分校のある地域に住む子どもたちの多くが他の地域にある高校に通っている状況にあります。

### 変化する分校の役割

そうした中、分校が果たす役割についても変化してきました。現在では、分校は多様な子どもたちがじっくりと落ち着いて学べる教育の場として大切な役割を担っています。こうした学びの場を求めて宮津高校伊根分校、峰山高校弥栄分校、網野高校間人分校については、分校のある地域外の遠方から通っている生徒が在籍者の多くを占めるようになっています。

### 新たな学校づくりへ

これまでの各分校での取組を継承し、その機能を集約し施設設備を充実させて子どもたちのニーズにあった、より柔軟で、充実した教育が行える教育環境を整えた新しい学校をつくりたいと考えています。

◆新たな学校づくりと京都フレックス学園構想について

目指す学校  
づくり

1. 現在の3つの分校を、現峰山高校弥栄分校校地に統合
2. 多様な生徒のニーズにより柔軟にきめ細かく対応できる新しい教育システムを導入
3. 自分のペースに合わせて、3年または4年での卒業が可能（昼間定時制）となる単位制を導入
4. 各分校の実践の継承、弥栄分校の農業科・家政科の教育資源の活用

京都  
フレックス  
学園構想  
とは

柔軟な教育システムの構築と  
若年者の社会的自立を支援する教育

多様な生徒の様々なニーズに対応する京都式の教育システム

従来の高校の概念を  
超える自由なスタイル

個のニーズに応じた  
柔軟な教育環境

外部機関とつながる  
トータルサポート

卒業率の増加・社会性の習得・基礎学力の定着

京都らしい“学習支援・就労支援・自立支援”  
による若年者の育成

目指す教育

これまで各分校が積み上げてきたきめ細かな教育の良さを継承しつつ、さらに充実したものにしていきます。

学ぶ意欲のある  
生徒の修学保障

自分のペースで学びたいと希望する子どもたちの学習機会をしっかりと保障できるよう、募集定員、入学者選抜の方法について検討していきます。

通学に関する  
配慮

通学に関することについては、関係の市町教育委員会のご意見もお聞きしながら、さらに検討していきます。

■丹後地域の府立高校の再編スケジュール

本校・分校ともに平成32年度からの実施を検討しています（平成28年度現在、小学6年生の高校入学時）。なお、再編時の在校生は入学した高校での卒業を前提として考えていますので、例えば、本校で学舎制を導入した場合、新入生は学舎制の高校、2、3年生は以前の高校のまま、というように、同じ校地内に2つの高校が併存することになります。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	再編実施 平成32年度
現在の高校 に入学して 卒業	中学校3年	高校1年	高校2年	高校3年	(定:高校4年)
	中学校2年	→中学校3年	→高校1年	→高校2年	→高校3年
	中学校1年	→中学校2年	→中学校3年	→高校1年	→高校2年
再編後の 高校に入学	小学校6年	→中学校1年	→中学校2年	→中学校3年	→高校1年

お問い合わせ:

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町 京都府教育庁指導部高校教育課  
☎075-414-5857

(ホームページ)

